

「くりセミナー2010」レポート

事業委員会 藤井 秀幸

コミュニティ・アーキテクト：と題して、セミナーを開転換していく社会のコミュニ、新しい時代の建築士。そのキーワードとしての『』を考えていきましょう』の「建築士3月号」にも話題です。

大学准教授の北尾靖雅先生事例、変化していく社会と活用するための実践を紹介プロセスを大切にし、社会の変化を表現していこうという姿勢が現在の研究につながっているようです。先生はマスターアーキテクトの研究会的孤立を感じる割合が少フ・アースキンという建築

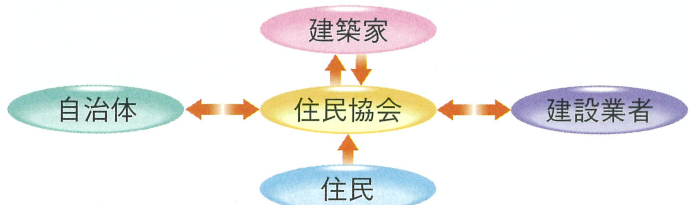
から80年代のイギリス、オ住宅（ソーシャルハウジンと対話を重ねて構想を共有。ちがどのような意見を持ち、を必要としているか、住民ました。コミュニティに対プロセスそのものが、自分務所自体が、そしてコミュニで成立することを目指したィ建築家としてRIBA（王D MEDALを受賞した際に、代建築は、商業を目的とすたらすものである。私にとではない。思考の方法である。ただし、歴史的環境

- 3) マイノリティの権利(特に、体に障がいがある人々)
- 4) エネルギー使用と経済性
- 5) あらゆる資源の利用における経済性

これは国連規約の居住の権利を空間として理解するための提言となっているのではないかと考えられます。

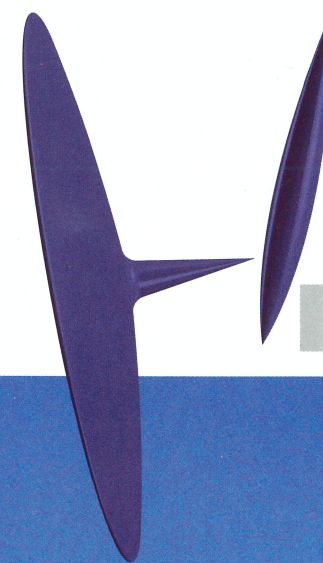
さらに、「ユーザークライアント」の概念を一利用者を理解する最善の方法は、あらゆる人々と会話してその人々に関心を持ち、さまざまな状況や人間の生活に興味を持つことと説明しています。建築家は、極端な考え方をする人々の間に立ってさまざまな方法を示すことができます。

次に、住宅供給を支援する組織「KUUB（クブ）」を紹介されました。活動拠点のオランダは20世紀以降社会事業としてソーシャルハウジングを整備してきた歴史があります。市の基金提供で設立された「KUUB」は、必要性に対応して個人住宅の供給を支援し、社会の利益を追求することを目的とした独立組織です。30戸を基本単位に住民協会をつくり、住民参加と共有空間の創出を積極的に支援する手法で、「KUUB」はつなぎ役として、下の図の矢印部分に関わります。



現代の日本における我々の考えるべきことは、自由と平等をどのように関係づけていくのか。1960年代以降をコモン、地域計画がなくなり、新自由主義の中で公（平等）が追いやられていることを感じます。公共の「共」の部分を取り出して、どのようなバランスをつくっていくかが大切です。「共」を積極的に構築していくことで、バランスのとれた社会になるのではないかと考えています。実は、それが空間的に現れるのがコモンであり、建築的に創っていくことが可能なのではないのでしょうか。「KUUB」のように創る人（プロセス）を支援することを強化するように動いていくと、結果として豊かな社会になると考えます。北尾先生はそう締めくくられました。

MONTHLY 建築士
No.61



HIROSHIMA



表紙写真について

福山市立大学

- 設計／株式会社 松田平田設計 大阪事務所
- 監理／福山市建設局建築部営繕課
- 施工／(仮称)福山市立大学建設工事共同企業体
- 所在地／福山市港町
- 構造規模／鉄筋コンクリート造・鉄骨造 6階建
研究棟 地上6階(塔屋部32.5m)
管理棟 地上3階(図書館含む)
体育館 地上2階
- 敷地面積／12808.54㎡
- 建築面積／5816.10㎡
- 延床面積／18451.25㎡
- 工事期間／2009年9月～2011年4月

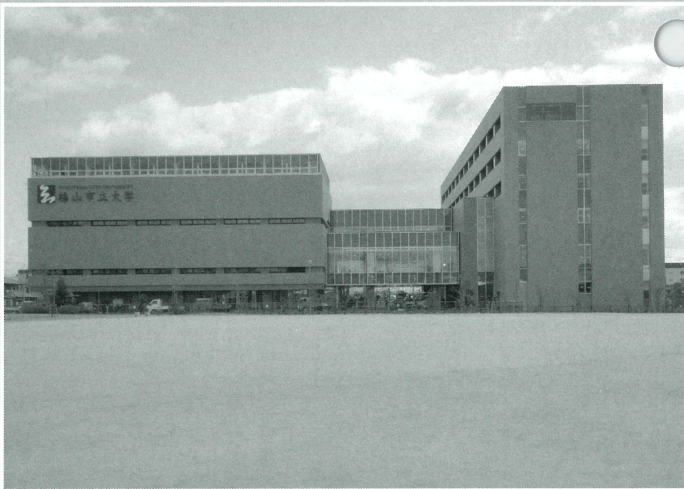
福山市立大学は、今春開学予定の男女共学の4年制大学である。全国で81番目の公立大学で、教育学部と都市経営学部の2学部で構成される。

基本方針は下記の3つ。

- 多様な交流を生み出す、居心地の良い大学
- 周辺環境と調和した大学
- 利用者や環境に優しい大学

前身は福山市立女子短期大学で、より魅力のある大学とするために、4年制大学への移行という抜本的な改革を行った。表紙の写真のようにキャンパスも新設され、新たなスタートを切ろうとしている。

福山市立大学は、福山駅から東方向に徒歩約20分の内港地区に作られた。この地域は、かつては瀬戸内の海と福山城の堀を結んでいた水路が通っていた場所である。堀と水路は、明治以降多くが埋め立てられ、残りわずか



となっている。大学周辺には大型商業施設や芸術文化ホール、緑地などが整備されており、大学を設置することにより地域全体の活性化や新たな都市空間としてにぎわいの創出が図れるなど、まちづくりに広く寄与することが期待される。

安心で安全な住まいづくりをサポートします

- ◎ 建築確認・検査
- ◎ 住宅性能評価
- ◎ フラット35 適合証明
- ◎ 長期優良住宅技術審査
- ◎ 住宅エコポイント

- ◎ 住宅かし担保責任保険

(財)住宅保証機構 (まもりすまい保険)
(株)住宅あんしん保証 (あんしん住宅瑕疵保険)
(株)日本住宅保証検査機構 (JIO わが家の保険)
たてもの(株) (たてもの保険 NAIS)



指定確認検査機関・登録住宅性能評価機関

株式会社 広島建築住宅センター

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀 15-10
TEL(082)228-2220 FAX(082)228-2231
営業所 〒720-0034 福山市若松町 8-22
TEL(084)928-3979 FAX(084)928-3974

事務局より 定期講習は受講されましたか？

これから当会が開催する定期講習日は以下のとおりです。
受付期間内でも定員になり次第締め切りますので、ご注意下さい。

開催日	会場	受付期間
8月 3日(水)	広島県情報プラザ	5月30日(月)～ 6月30日(木)
8月24日(水)	福山商工会議所	5月30日(月)～ 6月30日(木)
9月 7日(水)	広島県情報プラザ	5月30日(月)～ 7月25日(月)
平成24年 2月 8日(水)		11月14日(月)～12月20日(火)

◎受講申込書の配布：随時配布中

配布場所／広島県建築士会本部・福山支部
広島県建築士事務所協会

◎受講申込の受付(郵送可)

広島県建築士会本部
(広島市中区千田町3-7-47-5F)

*設計事務所の建築士として登録している者は、平成23年度中(平成24年3月まで)に「定期講習」を受講することが義務付けられました。(以後3年度ごとに受講)
*「定期講習」は「管理建築士講習」とは別のものです。「管理建築士講習」を受講して管理建築士として登録されている方も、「定期講習」は受講しなければなりません。

事務局より 23年度 会費のお支払について

23年度会費の収納について、「預金口座自動振替制」を導入致しました。これにご協力いただきました会員の皆様、誠にありがとうございました。来る4月12日に2,000円の引き落としが実施されますので、ご確認ください。

この「預金口座自動振替制」の手続きをまだされていない方、また、手続きが間に合わなかった方には、今月

号(4月号)の会報誌とともに郵便局での振込用紙を同封しておりますので、4月末日までに各自お振込みいただきますようお願い申し上げます。

また、この方には再度「口座振替依頼書」を同封しております。必ずご確認の上、できるだけ次年度(24年度)より自動口座引き落としに変更していただきますよう、ご協力お願い申し上げます。

既存建築物の耐震診断・改修計画判定業務を行っています

(既存建築物耐震診断・改修等推進全国ネットワーク委員会加入)

- 指定確認検査機関
- 登録住宅性能評価機関
- 指定構造計算適合性判定機関
- 登録建築物調査機関
- 適合証明業務(フラット35)
- 長期優良住宅認定審査業務
- 住宅瑕疵担保責任保険業務
- 調査診断業務(耐震診断等)
- 耐震診断判定業務
- 住宅エコポイント関連業務

皆様に、より良いサービスの提供に努めてまいります。



株式会社 ジェイ・イー・サポート

代表取締役 石山 講

URL <http://www.jesupport.jp/>

本社 〒730-0041 広島市中区小町2-30
TEL:082-546-1378 FAX:082-249-7190
e-mail: mail@jesupport.jp
支店:東京・札幌 営業所:呉

「ひろしまの都市格と暮らし-2」

まちづくり委員会 三島 久範

2月19日（土）、広島市まちづくり市民交流プラザにおいて、ひろしま文化都市フォーラム2011「ひろしまの都市格と暮らし-2」を開催しました。このフォーラムは、昨年2月開催の第1回フォーラム「ひろしまの都市格と暮らしを考える」、11月開催のゼミナール「学都広島街の街と暮らし」に続くもので、戦前の広島をひも解きながら、成熟社会に向けた「広島都市格と暮らし」について考えることを目的としています。

今回のフォーラムは3部構成となっており、第1部では、広島国際大学教授 千田武志氏による講話「軍都広島街の街と暮らし」、第2部では、郷土史家 田辺良平氏による講話「広島街の街と暮らし」をお聞きし、その2つの話を通じて広島史を学びました。そして第3部では、広島市公文書館館長の高野和彦氏による「戦前のひろしま街の街と暮らし」についての映像や資料を話題として重ねながら、「受け継がれるひろしまの都市格と暮らし」について、会場を交えたトークセッションを行いました。



第1部の千田先生の講話「軍都広島街の街と暮らし」では、陸軍を中心とした軍事が広島にもたらしたものと、人的集積、政治・経済の中核性、軍需工業の発展、医療・衛生・看護の先進施設の集積等があったことをご紹介いただきました。学都を含めた多様性が広島の特質であることを指摘されながらも、他都市と比べて軍事が突出した特色であることをお話いただきました。

第2部の田辺氏の講話「広島街の街と暮らし」では、幕末期に広島藩が財政難や石高に反した人口増に陥っていた理由や、明治初期には経済的な格が広島よりも尾道の方が上であったこと。また鎮台（第五師団）の

設置以降、広島が軍都として発展する中で、広島街の活性化を担った財界の旦那衆として、誰がどのように活躍したかについて話をいただきました。

第3部の高野氏の話 提供「戦前のひろしま街の街と暮らし」では、今につながる話として商店街と川についてのテーマ



を取り上げながら話しされました。明治期以降における広島市域の商店街の成長、広島街の2大商店街の対比（原爆で消失した「中島筋」と戦後も栄えた「本通」）、戦前の川のある暮らし等について、写真や動画を交えながらご紹介いただきました。

続くトークセッションでは、受け継ぐべき広島の事象について、各講師が思いを語る中で、会場からの意見や質問も交えながら、数多くの話題に触れることができました。学都広島の礎づくりに財界人が尽力したこと、周辺都市との交流を基にした再生産（芸北地域からの木材・砂鉄の流入、呉海軍からの技術士流入）が広島を成長させたこと、移民の多い県民性に安芸門徒としての気質的影響があるのではないかということ、加藤友三郎など知られていない広島出身の著名人がまだ多く存在すること、平和公園の功罪（西方への賑わいの分断）、消えようとしている過去の歴史情報や何気ない遺物、優れた過去の技術、瀬戸内海や山が育む自然の恵み、過去に消えた運河構想、川を身近な交通として利用していたのどかな文化、消えてしまった昔の町名、等々。

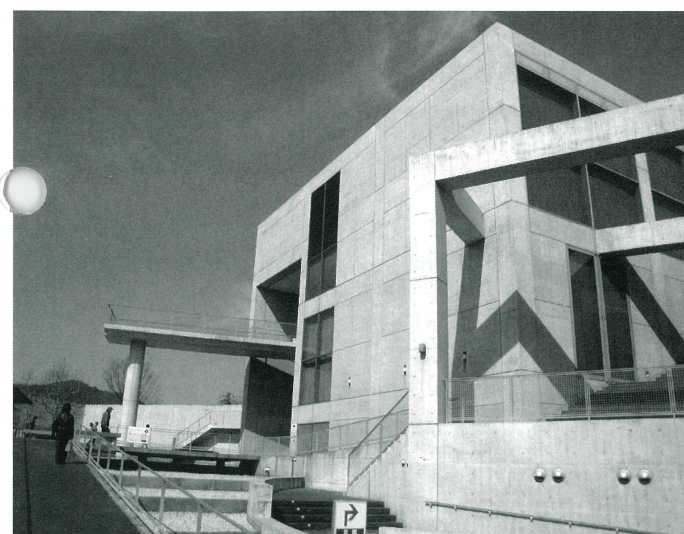
盛りだくさんの話題に対して興味深さは広がる一方、「都市格と暮らし」が何であるかという議論については、今回も十分に議論できないまま時間切れとなりました。講師の方が挙げられていた、残すべき事象の一つに、「戦前から蓄積された広島街の歴史」がありました。まさにこのフォーラムの継続意義に当たる部分であり、今後は各分野の深掘りとともに、これまで参加いただいた講師と共に、現在の財界の旦那衆にもご参加いただきながら、次の広島を考える機会を継続して設けることができると考えています。

第2回県外見学会（姫路）

見学委員会 佐名田 敬荘

2月26日（土）、29名の参加者により「姫路」へ県外見学会を開催しました。

今回は、城下町の風情を残す「船場城西地区」と安藤忠雄の設計による「姫路文学館」、西の比叡山と称される書写山の「圓教寺」と宮脇檀の設計による「姫路書写の里 美術工芸館」とを、それぞれが選択できる構成にしました。

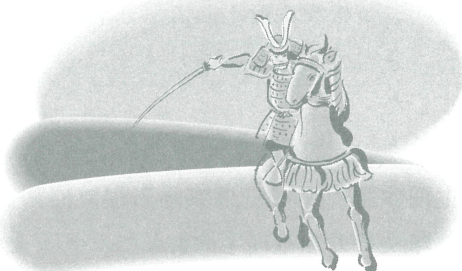


「船場城西地区」は、広い敷地の寺院を中心として古い街並みが部分的に残っていましたが、個人所有地などでは既に建て替えも進んでおり、地区全体としての街並

み保存の難しさを痛感しました。また、「姫路文学館」は安藤忠雄らしさが遺憾無く発揮され、築20年以上経過しても、打ち放しの美しさはさすが。これに隣接する明治から大正期にかけて建てられた「望景亭」では、木造建築の繊細な配慮や細工などが盛り込まれ、匠の技を堪能させて頂きました。

次に向かったのが、書写山の麓の「姫路書写の里 美術工芸館」。竹林の緑と建物の赤い柱が鮮やかに対比しており、ゆるやかな曲線の大屋根と相まって、周囲の自然の中に溶け込む風情はみごとの一言でした。さらに麓からロープウェイで書写山を一気に登り、山道を進むと圓教寺。一転して別世界が広がっていました。先ず、清水寺（京都）と同じ舞台造りの摩尼殿があり、さらに奥には3つの堂が荘厳な佇まいで鎮座。ラストサムライのロケ地にもなっており、静寂な山中での圧倒的な空間は、時代を超えた気迫を感じました。

今後も魅力的な見学会を企画いたします。皆さまの参加をお待ちしております。

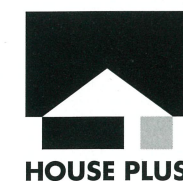


あなたの作品で表紙を飾ってみませんか？

随時、表紙用の写真を募集しています。写真（プリント、ポジ、データ）2～3点を設計概要、設計趣旨（400字程度）と一緒に送ってください。会員の皆様からのご応募をお待ちしています。

社団法人 広島県建築士会

〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ5F
TEL (082) 244-6830代 FAX (082) 244-3840
mail : info@k-hiroshima.or.jp
URL : http://www.k-hiroshima.or.jp/

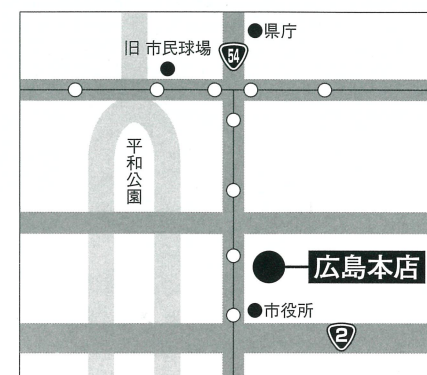


指定確認検査機関（中国地方整備局長指定第1号）
登録住宅性能評価機関（中国地方整備局長登録第5号）
登録建築物調査機関（中国地方整備局長登録第1号）

ハウスプラス中国住宅保証株式会社

代表取締役社長 河内 昭士

〒730-0042 広島市中区国泰寺町1丁目3番32号
TEL:082-545-5607(代表) FAX:082-545-5608



「環境に負荷をかけない建築・住宅とは」

住宅エコ展実行委員会



建築士会東広島支部創立 20 周年の節目の年に、地域に貢献できる行事をということで、エコロジーに関する住宅展示会を、支部総力を挙げて主催いたしました。2月19・20日の2日間、東広島市にある「下見福祉会館」において、15社にご出展を頂き開催。今注目されているエコ技術を中心とした展示物で、住宅の新築やリフォームを考えている一般の方々にも分かりやすい内容にしました。

また、「東広島市西条包括支援センター」の林千賀子主任介護専門員（東広島市福祉協議会相談員）に、「介護保険でできる住宅改修について」というタイトルでの講演をお願いしました。東広島市が行っているバリアフリー対策補助金制度や、高齢化社会に向けてのリフォームについて等、建築士がいかに関わるかについて有意義な説明があり、主催の士会会員も熱心に聴講していました。



子どもコーナーでは、「NPO法人ネットワーク竹原」による竹楽器「ミニクロンプット」づくりが行われ、多

く子どもたちが製作を体験しました。ミニクロンプットの不思議な音色に、感心しきり。そして会員の中の大工さんが、楽器作りの端材で竹トンボを作成してプレゼントすると、子どもたちは大喜びでした。

大ホールでは、ダンス&フィットネススタジオ「G-1 東広島サークル」によるダンス公演が行われ、若い女の子たちの弾けるダンスパフォーマンスが、会場を盛り上げてくれました。

屋外仮設テントでは、地域の皆さんによる昼食コーナーが開設され、うどん、炊き込みご飯、お餅を即売。玄関ホールでは、市内にある3つの福祉施設による自家製のパンやクッキー、作品などの販売が行われ、大好評でした。

「建築なんでも相談コーナー」では、リフォームや増築についての無料相談を受け付けました。

今年の夏以降、委員会の役員はじめ多くの会員が一丸となって準備してきたもので、全体計画策定、会場確保、後援の取り付け、講演会講師の依頼、出展者の募集、地域の皆さんへの参加依頼、支部会員への周知、ポスター・チラシづくり、新聞広告、そして会場準備など、たくさんの準備をこなしてきました。当日は、出展事業者がうまく設営できるように調整し、昼食うどんコーナーのためのテント設営や、テープカットの段取りなどに忙しく走り回るうちに開始時刻を迎えました。開会挨拶、来賓祝辞を頂いた後、5名の来賓によるテープカットで開会。開催中は、来場者の受付・案内、駐車場の誘導などを行い、その甲斐あって、2日間で300人を超える来場者がありました。またケーブルテレビ、新聞社の取材もあり、エコに対する関心の深さを感じました。

閉展後は出展者のブース撤去、掃除、そして石竹支部長の挨拶で締めくくりました。支部長の、「皆さんのおかげで成功裏に終了することができました」の言葉がすべてを物語っていると言えるでしょう。

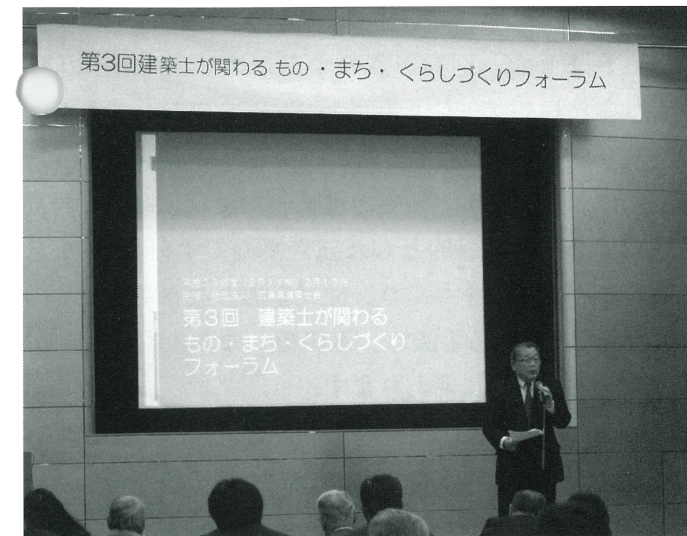
ご後援頂いた東広島市様、準備に当たられた支部会員の皆さん、出展事業者様、地域の皆様、ご来場頂いた皆様全員に、心から感謝申し上げます。



「建築士が関わるもの・まち・くらしづくりフォーラム」を終えて

社会活動委員会 青年部会 部長 森川 順平
女性部会 部長 家頭 昌子

「建築士が関わるもの・まち・くらしづくりフォーラム」も、今回で3回目を迎えました。フォーラムは2部で構成されており、第1部は私たち青年部・女性部が各支部単位で、それぞれの地域で行ったまちづくり活動の報告をする場です。そして同時に、中四国ブロック大会の広島県代表を選考する場でもあります。第2部では、建築士会の地域貢献活動センターが助成し、建築士会会員が参画しているまちづくり団体の報告会を行いました。



第1部においては、毎回ではありますが、支部ごとに「さすがっ！」と思えるような特色のある報告を聞くことができ、県内で活動する同士に感銘を覚えます。その中で、県北支部の小学校6年生の子どもを対象とした、「土壁・漆喰塗」の体験における、昔からの建築技術を今に伝えるワークショップの活動が優勝。平成23年度の中四国ブロック大会での広島県代表発表権を得ました。ま



た、準優勝となりました呉地区支部の、地元NPO法人と共に活動している子どもを対象としたものづくり「呉

こども工作教室」の活動が、平成24年度の大会発表権を得ました。今回残念ながら入賞を逃した5支部の活動報告も、どれも中四国ブロック大会での選考に勝ち残れる発表内容で、広島県建築士会青年部・女性部として誇れる報告ばかりだと思います。

第2部の地域貢献活動センター助成の3団体の報告発表は、これも毎回思うことですが、内容は深く、地域のために本気で考え、行動していることが率直に伝わりました。また、場慣れした流暢な発表で、私たちが見習うことばかりでした。

このような他団体の方々の濃い内容の報告を聞くことができ、この2部構成のフォーラムは私たち青年部・女性部にとっては格好の勉強の場と感じました。

2011 Information Calendar 4月・5月の行事予定

4 April

- 11月・二級・木造受験申込受付（～15日まで）
- 16土・一級建築士製図試験対策講習会（福山支部青年部会）
- 17日・一級建築士製図試験対策講習会（福山支部青年部会）

5 May

- 9月・一級受験申込受付（～13日まで）
- 13金・呉地区支部総会・呉青年部総会
- 14土・広島支部総会
・福山ばら祭参画（福山支部青年部会）
- 15日・福山ばら祭参画（福山支部青年部会）
- 21土・平成23年度広島県建築士会定時総会（東広島市）
- 28土・福山支部総会

